



日鉄興和不動産

HEALTH AIR LINE

【今泉社長からのメッセージ】

社員一人ひとりが、モチベーションと緊張感を持って、健康でいきいきと働くためには、社員の健康・メンタル面の管理・サポートが大切な経営課題であると考え、昨年度より、皆さん及びご家族の健康増進のバックアップのための様々な施策に取り組んできました。

疾病予防の要として「早期発見・早期治療」のために受診をお願いしていた定期健康診断は、昨年度受診率100%を達成し、赤坂インターシティ AIR 医療機関である虎の門病院付属健康管理センターとの連携施策として推奨している人間ドック受診は、私を含めた多数の社員、ご家族が利用するなど、皆さんの健康に対する意識が高まっていることを日々実感しています。

今年度に入ってから、既存の産業医面談に加え、保健師を採用し、健康相談機会を充実させ、また、定期健診結果の個別へのフォローアップを行う等、新たな取組を通じて社員の健康保持・増進の枠組みを整備しています。それらを皆さんが有効に活用して頂くためにも、健康は自らが管理するものであることを改めて認識して頂きたいと思います。

現在、我が国の働き方は、大きなターニングポイントを迎えており、時間をかけて良いものを作り出す仕事のやり方は終焉を迎え、限られた時間で効率良く結果を出して行かなければ、他社と同じ土俵で戦うことは出来ず、当社が生き残ることは難しくなっていくと感じています。

当社が勝ち残っていくためにも、社員の皆さん一人ひとりが心身ともに、健やかで、そして、しなやかに新しい発想で仕事に取り組んで頂きたいと考えます。

今後は疾病予防や健康維持の視点だけではなく、現在、治療や介護と仕事との両立について悩んでいる人々に対しても目を向ける必要があると思います。

私は、様々な事情を抱えながら働いている人が、自身の事情をオープンマインドで伝えることが出来、それを助け合うことが当たり前となり、また全員が自身の最大限の力を発揮し、会社と一緒に成長出来る組織風土が当社に根付くことを目指していかねばならないと考えています。

私自身、社員の健康を守る責任者として、一般に使われている言葉より幅広く「健康経営」を推進するために、より一層、意識を持って各種施策の推進を行っていきたく思います。社員の皆さん一人ひとりにも、是非とも自律的に健康への意識を高め、積極的な取組を進めていただくことをお願いするとともに、会社としてはそのような皆さんの取組を引き続きバックアップしていきます。

変革を恐れず、新しい発想・アプローチで当社の事業を通じて社会に貢献していく、そのような会社を皆さんと一緒に作り上げて行きましょう。